

実践事例

(その他) 岡崎小学校 4年

今の自分を見つめ、生き生きと夢をえがく児童の育成 ～4年生におけるキャリア教育の実践～

5月～3月(35時間)

1 はじめに

職業、進路という言葉を知ると、小学生には関係が薄いように感じるが、2年生の「町たんけん」や、3年生から始まる社会科の学習における社会見学などの活動から、働く人を身近に感じ、そのやりがいや苦勞について、体験を通して実感することができると思う。その他にも、日常生活の中の役割である給食当番、係活動、掃除など、「責任を持って行動する」活動は多く設定されている。このように、学校の教育活動全体でキャリア教育をとらえ、意識して行うことで、「生きる力」を培うことができるのではないかと考えた。

本学級の子どもたちは、物事に一生懸命に取り組むことができる。日常生活では、日直や係活動、生活班の中で自分の役割を自覚し、行動している。しかし、責任感という面で見ると、任された当番をうっかり忘れることがあったり、活動中に遊んでしまい、注意を受けたりすることがある。こうした子どもたちの姿を見たときに、彼らがこの先夢を持ち、仕事に就くことを考えると、任されたことを最後までやり遂げる姿勢や、自分のやりたいことや良いと思うことなどを考えて進んで取り組む姿勢を育む必要があると強く感じた。

2 実践の概要

(1) 自分について知ろう

実践の初めに、将来やってみたい仕事についてのアンケートをとった。男子と女子で職種が大きく分かれ、中でも男子は「スポーツ選手」、女子は「パティシエ」になりたいという子が多かった。理由を聞くと、自分の趣味や特技を職業につなげている子がほとんどで、テレビで見てかっこいいと思った、小さい頃からやっているからと言う子もいた。

他にも興味のある職業を見つけてほしいと思い、自分の得意なことやいいところを見つける活動を行った。授業の前半は自分自身の好きなことや得意なことを見つけたが、なかなか思いつかない児童がいたため、後半は友達に良いところや得意なことを言ってもらう時間を設けた。

自分では予想していなかったことを言われた子もいたようで、嬉しそうにカードに記入する姿が見られた。

活動のふり返しカードから

- ・自分のいいところや得意なことは、友達から見てたくさんあって、こんなに好きなことや得意なことがあっておどろきました。
- ・自分では気づかぬうちにやっていることを友達に教えてもらってびっくりした。
- ・〇〇くんがドッジボールがうまいと言われたことが一番うれしい。
- ・最初は1つしか思いつかなかったけど、教えてもらってたくさん書けたのでうれしかったです。
- ・自分が友達にどう思われているかわかって良かったです。

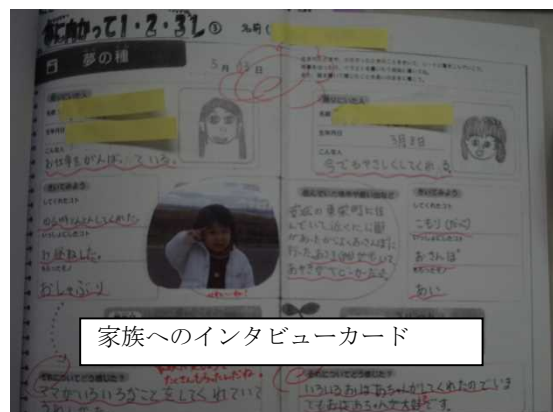
(2) 夢の種を見つけよう

自分が生まれたときのこと、小さかったときのことをふり返る活動は2年生の生活科の学習で行っているが、ここで再度自分の育ってきた家庭に目を向け、家族からどのような

ことをしてもらったか、自分が生まれた時にどのように思ったかなどをインタビューする課題を出した。

完成したワークシートを見ながら、自分の小さい頃のエピソードをグループで発表しあう場を設けた。

自分と友達の身長や体重を比べて楽しむグループもあり、楽しそうに活動する様子が見られた。この活動から、自分が家族にとってかけがえのない存在であり、多くの愛情を受けて育ってきたのだということを改めて感じる事ができた。



(3) 職業がたくさんあることを知ろう

「好きなこと・得意なこと」の活動をふり返り、そのことに関わる職業にはどのようなものがあるのかということ調べた。学習の感想から、職業に対する視野が広がった児童が多く見られた。また、夏休みを利用して、身近な人の仕事について調べる活動も行った。ほとんどの児童が自分の家族について調べ、中には初めて家族が働く様子を見学した子もいた。今まで家族がどのような仕事をしているのか知らなかった児童が、自分が学校に通っている間、家族はどれほど大変な仕事をしているかということを見つけたようだった。

(4) 働くといくことについて考えよう

委員会や当番活動を積極的に行っている児童であるが、自分の当番を忘れてしまうことがあったり、2つの仕事が重なってしまうとどちらかを疎かにすることがあった。このことを学級会の議題にあげ話し合うと、自分にしかできない委員会の活動は自分が行き、給食当番など全員がやり方を知っている仕事は友達にお願いして代わってもらうという考えにまとまった。仕事に関して調べ活動を行ったことで、より責任感を持って自分に任された仕事を行うということを見つけた児童が増えてきたことを感じられた。

- C1 委員会活動とクラスの活動なら、委員会活動にいった方が迷惑をかける人数が少ないと思います。
- C2 でも、給食当番だっていないと困るよ。
- C3 どちらも大切だと思います。どっちかだけやるのって無責任だと思う。
- C4 私もそう思います。クラスの仕事は委員会の仕事より大事じゃないのは違うと思います。
- ...
- T 委員会と給食当番の仕事が同じ日に当たってしまったらどうすればいいかな。
- C3 給食当番は友達に頼んで、委員会に行った方がいいと思います。
- T どうして？
- C3 委員会の仕事は自分にしかわからないけれど、給食当番は友達にもわかるから。
- C2 それならだれも困らないからいいと思います。

学級会での話し合いの様子

3 実践を振り返って

4年生では、社会科の内容が「働く人々」について取り上げる機会が多く、社会見学の際に仕事内容ややりがいについて直接インタビューすることができた。働く人に肌で触れ、児童は働くということは楽しいことばかりでなく、こわい思いをすることや辛いこともあるのだと知ることができた。また、調べた職業を発表する会や、パソコンや図鑑を使っての仕事調べから、実践の初めからすると比べ物にならないほど多くの職種を知り、自分の可能性を広げることができた。今後、児童は「2分の1成人式」を行う予定である。自分が生まれたことで、多くの人々が喜んだことを実感し、自分だけでなく周りにいる人を大切にしようという気持ちを、次の実践に繋げていきたい。